



---

---

**XML コンソーシアム、国連専門機関 Universal Postal Union が提唱する  
IPACT(XMLによる諸国間での郵便情報の標準化)の  
国内適用研究を目的とした IPACT WG を設立**

---

---

XML コンソーシアム(会長:鶴保証城NTTソフトウェア株式会社代表取締役社長、会員数267社:2003年3月1日現在)は、本日、国連専門機関『Universal Postal Union(以下、「UPU」という)』が提唱するIPACT(International Postal Address Components and Templates)の国内適用研究を目的としたIPACT WG(アイ・ピー・エー・シー・ティー・ワーキンググループ)を設立したことを発表しました。

IPACTとは国連の専門機関であるUPU(Universal Postal Union)が提唱する諸国間での郵便情報のXML標準フォーマットです。IPACT WGでは、IPACTの日本国住所適用を研究するだけでなく、既に同分野において昨年10月にXMLコンソーシアムによって勧告され、宛名書きソフト及びアドレス変換ソフトの国内業界標準のデータ・フォーマットである「ContactXML」との整合性も研究します。この研究結果は郵政事業庁を通じUPUにレポートする予定であり、民間レベルも含めた日本国と諸国間での郵便情報のスムーズな交換を促進します。

#### UPU(Universal Postal Union)について

UPU(Universal Postal Union: <http://www.upu.int/>)とは郵便業務の効果的運営によって諸国間の通信連絡を増進し、文化、社会及び経済の分野における国際協力に寄与することを目的に1874年10月9日、国際郵便条約(ベルヌ条約)によって設立された国連の専門機関。加盟国は280カ国。

#### XML コンソーシアムについて

XML コンソーシアムは、XML 技術のビジネスにおける実用化推進を行う国内唯一の団体です。セミナー・イベント、部会活動、情報発信、標準化推進、各業界団体との連携などの具体的な活動を通じて、さまざまなコンピュータシステムにおけるXML 技術の適用に貢献してまいります。特にXML コンソーシアムでは、2001年10月に「Web サービス推進委員会」を発足させ、部会活動と共にその普及啓蒙を推進してきました。今後も更にWeb サービスの実用化に向けた活動を続けています。

XMLコンソーシアム ContactXML部会 IPACT WGとは

XMLコンソーシアムContactXML部会 IPACT WGはIPACT仕様に関するA) 日本国住所のIPACTへの適用に関する研究、B) ContactXMLのIPACTへの適用に関する研究を行うことを目的に設置されたXMLコンソーシアムの実働組織です。WGメンバーは、会員企業7社および郵政事業庁で構成されています。

<WGリーダー>

郵政事業庁 中川 真孝

<WGメンバー>

- 株式会社アイフォー
- 株式会社アグレックス
- インフォテリア株式会社
- 株式会社エニイ
- 株式会社クレオ
- システムポート株式会社
- 富士ソフトABC株式会社
- 郵政事業庁

<URL>

<http://www.contactxml.org/>

<お問合せ先>

XML コンソーシアム事務局田中 (富士ソフトABC 内)

TEL. 03-5600-6205

E-mail. [xmlcons@fsi.co.jp](mailto:xmlcons@fsi.co.jp)

URL <http://www.xmlconsortium.org/>

以上